

日本中東学会ニューズレター

JAMES
NEWSLETTER



No.155
2019/4/25

目 次

第 18 期理事職掌分担	1
第 18 期事務局	2
日本中東学会第 35 回年次大会の案内と最終プログラム	2
『日本中東学会年報 (AJAMES)』編集委員会報告	10
寄贈図書	10
会員の異動	10
事務局より	11
編集後記	11

第 18 期理事職掌分担

第 18 期理事の職掌分担について下記のとおりに決定しました。

会長：大稔哲也

事務局長：安田慎

総務担当：勝沼聡

AJAMES 編集委員会：横田貴之（編集長）、近藤信彰（副編集長）、
錦田愛子（副編集長）

国際交流委員会：黒木英充（委員長）、岩崎えり奈、東長靖

企画担当：末近浩太、森山央朗

広報担当（旧ホームページ担当）：三沢伸生

財務・会則担当：江川ひかり

渉外担当：菊地達也

ニューズレター・書記担当：秋葉淳

年次大会担当：山岸智子

(安田慎 事務局長)

第 18 期事務局

第 18 期理事会の事務局は下記のとおりです。

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 1300 高崎経済大学 安田慎研究室

E-mail: james@james1985.org

<http://www.james1985.org/>

(安田慎 事務局長)

日本中東学会第 35 回年次大会の案内と最終プログラム

すでにお知らせのとおり、2019 年度の第 35 回年次大会は、1 日目（公開講演会と総会）が秋田市にぎわい交流館 AU、2 日目（研究発表）が秋田大学手形キャンパスで開催されることになりました。どうぞよろしくご参集くださいますようお願い申し上げます。

1. 1 日目の公開講演会

1 日目（5 月 11 日（土））は、秋田大学大学院国際資源学研究科と人間文化研究機構基幹研究プロジェクト「現代中東地域研究」との共催で、「中東地域における多元的資源観の醸成を目指して」と題した公開講演会を開催します。詳細は下記の最終プログラムをご覧ください。

2. 2 日目の個人研究発表・企画セッション

2 日目（5 月 12 日（日））は、8 つの部会に分かれて個人研究発表、ならびに 8 つの企画セッションが行われます。詳細は下記の最終プログラムをご覧ください。

3. 当日の参加登録

事前参加登録は 4 月 5 日に締め切りましたが、当日も年次大会と懇親会への参加は受け付けます（2 日目のお弁当と託児所利用申し込みはお受けできません）。当日の参加登録の場合、大会参加費 2,000 円、懇親会費 7,000 円（学生会員 5,000 円）とさせていただきます。

1 日目の公開講演会は、非会員の方でも無料でご参加いただけます。2 日目の企画セッションと個人研究発表をご聴講いただくためには、会員同様に大会参加費をお支払いいただきます。金額は、会員同様 2,000 円です。ご関心のある非会員の学生・院生や一般の方々をお誘いください幸いです。

4. 会場へのアクセス

1 日目 秋田市にぎわい交流館 AU 多目的ホール 〒010-0001 秋田市中通一丁目 4-1
(JR 秋田駅西口から徒歩 7 分)

<http://www.akita-nigiwai-au.jp/access>

2 日目 秋田大学手形キャンパス 〒010-8502 秋田市手形学園町 1-1
(JR 秋田駅から約 1.3 km、徒歩 20 分、車 6 分)

<https://www.akita-u.ac.jp/honbu/access/>

※ 秋田市へのアクセスは秋田新幹線か、空路が便利です。最寄り空港は秋田空港 (JAL、ANA) で、秋田空港から秋田駅まではリムジンバスで約 35 分です。

5. 大会についての連絡先

日本中東学会第 35 回年次大会実行委員会

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町 1-1

秋田大学大学院国際資源学研究科 縄田浩志研究室内

Tel: 018-889-3256 (縄田研究室直通) /018-889-3297 (遠藤研究室直通)

E-mail: james2019akita@gmail.com

6. 日本中東学会大会第 35 回年次大会最終プログラム

* 氏名の右側の () 内は所属。J は大学院生を指す。

第 1 日 : 2019 年 5 月 11 日 (土) /May 11 (Sat.), 2019

13:00~16:45 公開講演会「中東地域における多面的資源観の醸成を目指して」

この半世紀にわたる日本・中東関係構築の軸は、「産業発展のための原料としての資源 (とりわけエネルギー資源) の確保」という課題であった。そのようななか、エネルギー産業と理学・工学・社会科学のように産業界と学術界は密に協力してきた。しかしながら学術界全体においては、各分野での堅実な進歩とは裏腹に、人文社会科学と自然科学の間には必ずしも緊密な研究交流があったわけではなく、いわゆる文理融合的な学際研究は他地域 (例えば東アジア、東南アジア、アフリカ) に比べてあまり深化してこなかったといえる。

一方、近年、資源確保を軸とした日本・中東関係は新たな局面に移行しており、レアメタルを含む金属鉱床の共同調査、太陽光発電や原子力発電の共同事業といった石油・天然ガスの代替えとなるエネルギー分野に加え、地球環境問題や社会問題等のグローバルイシューにも積極的また多面的に関与する必要が生じている。

そこで本シンポジウムでは、中東における持続的な資源開発と良好な関係の継続と発展のためには、理学・工学分野と人文・社会科学分野、さらにはグローバルなレベル（実業界や国際機関）とローカルなレベル（地域住民）を架橋して、いったいどのような“資源観”を醸成していくべきなのか、議論していきたい。

宮本律子（秋田大学） 全体司会

藤井光（秋田大学、大学院国際資源学研究科長） 挨拶

西尾哲夫（国立民族学博物館）「フォーラムとしての現代中東地域研究の可能性」

縄田浩志（秋田大学）「文理融合／異分野連携の中東地域研究：人文学がつなぐ研究と実践の事例より」

藤井光（秋田大学）「中東地域の技術者との業務、研究を通じた交流」

千代延俊（秋田大学）「アブダビにおける石油開発と地球温暖化ガス削減」

渡辺寧（秋田大学）「中東地域の鉱物資源」

保坂修司（日本エネルギー経済研究所）「中東の資源をめぐる日本の外交と中東研究」

質疑応答・総合討論

座長：稲垣文昭（秋田大学）

登壇者：講演者6名、安達毅（秋田大学）、坂梨祥（日本エネルギー経済研究所）

コメンテーター：片倉邦雄（元駐 UAE・駐イラク・駐エジプト大使）

大稔哲也（早稲田大学、日本中東学会会長） 挨拶

17:00～18:00 第7回日本中東学会奨励賞授賞式・日本中東学会総会

18:10～18:50 秋田大学竿燈会妙技披露（エリアなかいち にぎわい広場）

19:00～21:00 懇親会（秋田キャッスルホテル、秋田市にぎわい交流館AUより徒歩1分）

第2日：2019年5月12日（日） 秋田大学手形キャンパス

（一般教育1号館、受付は一般教育2号館）

12:40～14:10 企画セッション

9:00～11:40/14:20～15:40 個人研究発表

12:00～13:00 秋田大学大学院国際資源学研究科附属鉱業博物館案内

【企画セッション】

12:40～14:10 企画セッション 1/Panel Session 1（日本語）

教室／Room 1-302

「中東の都市と農村における公共空間の変容」

深見奈緒子（日本学術振興会）・吉村武典（大東文化大学）・宍戸克実（鹿児島県立短期大学）「都市の街路と施設にみる公共空間の変容：エジプト、カイロ旧市街の事例から」

岡戸真幸（人間文化研究機構）「アホワ（喫茶店）と出稼ぎ労働者の関わり：エジプト、アレクサンドリアの事例から」

北澤義之（京都産業大学）・岩崎えり奈（上智大学）「ヨルダンにおける公共空間としてのディーワーン：ヨルダン北部の事例」

コメンテーター：私市正年（順天堂大学）

12:40～14:10 企画セッション 2/Panel Session 2（日本語） 教室／Room 1-303

「大塚モスクによる難民支援：在日ムスリムによる国際協力の一例として」

司会・趣旨説明：子島進（東洋大学）

岡井宏文（早稲田大学）「在日イスラーム団体の社会活動とネットワーク：日本イスラーム文化センターを事例として」

佐藤麻理絵（日本学術振興会）「トルコにおけるシリア支援の構図：大塚モスクを起点とした人的ネットワークを中心に」

コメンテーター：日下部尚徳（東京外国語大学）

12:40～14:10 企画セッション 3/Panel Session 3（日本語） 教室／Room 1-304

「アラビア語のダイグロシアの現在」

司会：近藤久美子（大阪大学）

榮谷温子（慶應義塾大学）「ダイグロシアとは？」

榮谷温子（慶應義塾大学）「アラビア語エジプト方言版のウィキペディアに見るダイグロシア」

モハンマド・ファトヒー（東京都市大学）「アラビア語圏における言語状況：エジプトに見られるダイグロシアの現況」

岡崎英樹（四天王寺大学）「書き言葉としてのダーリジャ：モロッコにおける言語生活の変容」

近藤久美子（大阪大学）「アラビア語教育をめぐるダイグロシアの問題：非母語話者への教育の場」

12:40～14:10 企画セッション 4/Panel Session 4（日本語） 教室／Room 1-305

「多角的アプローチを通じて解明するシリア紛争の影響：人々の意識変化に関する量的研究、質的研究」

司会：高岡豊（中東調査会）

浜中新吾（龍谷大学）「シリア政府支配下住民と国内避難民の国際関係認識：政治的認知地図によるアプローチ」

錦田愛子（慶應義塾大学）「帰還をめぐる思い：シリア難民の移動に対する意識の比較分析」

青山弘之（東京外国語大学）「黙殺されてきたシリア内戦最大の被害者たちは何を欲しているか：IDPs 世論調査結果の地域研究的解読」

12:40～14:10 企画セッション 5/Panel Session 5 (日本語) 教室/Room 1-402

「ムスリム社会における社会的弱者の権利：子ども・患者・貧困者」

司会：長沢栄治 (東京外国語大学)

小野仁美 (神奈川大学) 「『子の利益』とは何か：チュニジアにおける離婚後の子の
監護権をめぐる」

森田豊子 (鹿児島大学) 「現代イランにおける子どもの人権とイスラーム：『子ども
と若者の保護法』をめぐる議論」

細谷幸子 (国際医療福祉大学) 「イランにおける患者の権利をめぐる議論」

村上薫 (アジア経済研究所) 「貧者の権利とは何か：トルコの公的扶助の実践に見る
権利概念の複数性」

コメンテーター：堀井聡江 (桜美林大学)

12:40～14:10 企画セッション 6/Panel Session 6 (日本語) 教室/Room 1-403

「メディアとイスラーム思想/知の連環」

司会：千葉悠志 (公立小松大学)

黒田彩加 (日本学術振興会) 「『現代のムスリム』誌にみるイスラーム改革思想の一
展開：エジプト知識人の活動と『対話』をめぐる言論空間の形成」

相島葉月 (国立民族学博物館) 「エジプト人中流層のメディア消費と教養としての
スーフィズムの形成」

千葉悠志 (公立小松大学) 「衛星放送時代におけるイスラーム的知とその形成要因を
めぐる考察」

12:40～14:10 企画セッション 7/Panel Session 7 (日本語) 教室/Room 1-404

「サウディ・アラビア、ワーディ・ファーティマにおける半世紀後の再調査：片倉も
とこ調査資料の活用とその展開」

司会：片倉邦雄 (片倉もとこ記念沙漠文化財団)

石山俊 (国立民族学博物館) 「ワーディ・ファーティマにおける土地利用・農業の変容」

遠藤仁 (人間文化研究機構/秋田大学) 「ワーディ・ファーティマにおける物質文化
の記録保存」

郡司みさお (片倉もとこ記念沙漠文化財団) 「ワーディ・ファーティマにおける民族
服飾の多様性と変容」

藤本悠子 (片倉もとこ記念沙漠文化財団) 「半世紀前の被写体女性の氏名・親族関係
の同定：片倉もとこのワーディ・ファーティマにおける調査の継続から」

12:40～14:10 企画セッション 8/Panel Session 8 (日本語) 教室/Room 1-405

「変容するエネルギー資源国のガバナンスの現状と課題：イラン、UAE、中央アジア
の比較分析」

司会：稲垣文昭 (秋田大学)

稲垣文昭 (秋田大学) 「中央アジアにおけるエネルギー資源を巡る対立と和解：タジ

キスタンとウズベキスタンの二カ国関係を事例に」
坂梨祥（日本エネルギー経済研究所）「イランにおけるイスラーム新思考の現在」
堀抜功二（日本エネルギー経済研究所）「アラブ首長国連邦における国民形成の系
譜：『アラブの春』後の政治現象に注目して」
コメンテーター：安達毅（秋田大学）・清水学（(有) ユーラシア・コンサルタント）

【個人研究発表】

第1部会/Session1（日本語） 教室／Room 1-302

- 9:00～ 9:40 小野亮介（早稲田大学）「批判対象としてのゼキ・ヴェリディ・トガン」
9:40～10:20 私市正年（順天堂大学）「*Al-Ruh* 紙とアルジェリア・ナショナリズム
運動の再考」
10:20～11:00 鈴木均（日本貿易振興機構アジア経済研究所）「デモダナイゼーシ
ョンとサイコナショナリズム再考」
11:00～11:40 竹村和朗（高千穂大学）「“人民の権利のため”：エジプトの国有地返
還請求キャンペーンの論理と制度化」の考察
14:20～15:00 高尾賢一郎（日本学術振興会）「サウジアラビアにおける『公式』イ
スラーム言説の展開」
15:00～15:40 石神美代子（九州大学J）「『アラブの春』後のクウェートにおける青
年層向け起業支援策の急増について」

第2部会/Session2（日本語） 教室／Room 1-303

- 9:00～ 9:40 池端路子（日本学術振興会）「宗教間対話の新しい国際戦略：イスラ
ーム諸国と国連の場合」
9:40～10:20 桐原翠（京都大学J）「ハラール認証制度とイスラーム法の越境性：グ
ローバル化とローカル化の間で」
10:20～11:00 野中葉（慶應義塾大学）「現代インドネシア社会におけるニカブ着
用現象」
11:00～11:40 足立真理（京都大学）「イスラーム経済思想における福祉的概念の探
求：貧困の定義とマカーシド・シャリーア論の展開に着目して」
14:20～15:00 野中恵子（一橋大学J）「平明丸事件（1921年）の再検討：第一次世
界大戦の完全終結過程において事件が持つ意味」
15:00～15:40 清水学（(有) ユーラシア・コンサルタント）「平田篤胤・佐藤信淵か
らモーゼス・ヘスおよびヘルツェルのシオニズムを考える」

第3部会/Session3（英語／日本語 in English & Japanese） 教室／Room 1-304

- 9:00～ 9:40 Haidar Reda Mohamad (Chiba University, J) “The Revival of Tribalism
during the Sectarian Conflicts in the Post Saddam Era”
9:40～10:20 Mostafa Khalili (Doshisha University, J) “The Merging Process of Tribal
Identity into the Ethnic Identity: The Case Study of Qarapapaq Tribe in Sulduz Plain at

- the North West of Iran”
- 10:20～11:00 Qolamreza Nassr (Hiroshima University) “Obstacles of Political Party Growth and Delay of Factional Coalition in Post-Revolution Iran”
- 11:00～11:40 Scott Morrison (Oxford Brookes University) “*Takaful* (Insurance): Islamic Legal Arguments and Modern Structures”
- 14:20～15:00 ニツ山達朗 (平安女学院大学) 「クルアーンが記されたモノはどこへ行くのか? : チュニジア南部における室内装飾具の事例から」
- 15:00～15:40 小島宏 (早稲田大学) 「ベルギーのムスリム若者における宗教実践行動の関連要因: 兄弟姉妹構成の影響を中心とする分析」

第4部会/Session 4 (日本語)

教室/Room 1-305

- 9:00～9:40 吉村貴之 (早稲田大学) 「アルメニア人虐殺追悼集会からレバノン内戦へ: レバノンのアルメニア人社会の変容」
- 9:40～10:20 岡部友樹 (京都大学 J) 「レバノン内戦とシリア内戦: 比較は可能か」
- 10:20～11:00 山尾大 (九州大学) 「宗派主義の政治的意味をはかる: イラク主要紙の量的テキスト分析」
- 11:00～11:40 小山友 (千葉大学 J) 「移民政党 DENK の台頭とその政治的影響: オランダのイスラム系移民をめぐる政党政治の変化」
- 14:20～15:00 望月葵 (京都大学 J) 「隣接する『異邦』に暮らすシリア難民: ヨルダンにおける『生存基盤』と『帰属』をめぐる考察」
- 15:00～15:40 上野祥 (東京大学 J) 「ムバーラク政権期エジプトにおける政治的抑圧: 人権団体の報告書を中心に」

第5部会/Session 5 (日本語/英語 in English & Japanese)

教室/Room 1-402

- 9:40～10:20 谷憲一 (一橋大学 J) 「現代イランにおけるシーア派アルバイーン参詣の発展とその意義」
- 10:20～11:00 西川優花 (大阪大学 J) 「イラン乾燥地域における水のコモنز: ザーヤンデルード流域からの検討」
- 11:00～11:40 保井啓志 (東京大学 J) 「イスラエルの動物の権利に関する運動・ヴィーガニズム: ナショナリズムとパレスチナ問題の関わりから」
- 14:20～15:00 鷺見朗子 (京都ノートルダム女子大学) ・鷺見克典 (名古屋工業大学) 「アラビア語学習の契機、文化興味、学習結果: アラビア語集中講座合宿の受講者を対象として」
- 15:00～15:40 Lee In-Seop (Hankuk University of Foreign Studies) “Index of Synthesis in Classical Standard Arabic”

第6部会/Session 6 (日本語/英語 in English & Japanese)

教室/Room 1-403

- 9:00～9:40 村上武則 (京都大学 J) 「変わりゆくクルド語出版: 現在から過去へ」
- 9:40～10:20 岡崎弘樹 (日本学術振興会) 「現代シリア文学における『パレスチナ』」

- 10:20～11:00 ハディ・ハーニ（慶應義塾大学 J）「パレスチナ問題における『民族自決』概念の批判的検討：初期パレスチナ解放闘争における内在化の過程を通じて」
- 11:00～11:40 早川英明（東京大学 J）「宗派主義をめぐるレバノン共産党系知識人の議論」
- 14:20～15:40 Kim Joong-Kwan (Dongguk University) “Arab Refugee Issue: Socio-economic and Geopolitical Challenges”
- 15:00～15:40 ワリード・イブラヒム/Walid Farouk Ibrahim（カイロ大学/Cairo University）「普遍的価値を広める翻訳方略の確立に向けて：宗教的表現の翻訳を考える」/“Toward Establishing Translation Strategy to Spread the Universal Value: Considering the Translation of Religious Expressions”

第7部会/Session 7（日本語）

教室/Room 1-404

- 9:00～9:40 早矢仕悠太（東京大学 J）「死地蘇生規定に関する学説相違にみる初期ハナフィー派の土地所有権取得観念」
- 9:40～10:20 大渕久志（東京大学 J）「ファフルッディーン・ラーズイーの政治神学」
- 10:20～11:00 相楽悠太（東京大学 J）「イブン・アラビー思想における『理性』(aql) の概念：『理性の限界の向こう』との関係に注目して」
- 11:00～11:40 澤井真（京都大学）「イブン・アラビー学派における完全人間論の展開」
- 14:20～15:00 近藤洋平（東京大学）「初期イバード派イスラーム法における先物売買の整備」
- 15:00～15:40 近藤信彰（東京外国語大学）「ガージャール朝『王室財産・ワクフ財台帳』の再検討」

第8部会/Session 8（日本語）

教室/Room 1-405

- 9:00～9:40 大河原知樹（東北大学）「『カーディー裁判』：そのイメージと現実」
- 9:40～10:20 秋葉淳（東京大学）「オスマン帝国史における捕虜と虜囚記（16-18世紀）」
- 10:20～11:00 鈴木真吾（慶應義塾大学 J）「近代オスマン帝国都市における疫病防疫策の変容：イズミルの事例から」
- 11:00～11:40 松尾有里子（お茶の水女子大学）「20世紀初頭イスタンブルにおける女性教師養成校（1909-1933）」
- 14:20～15:00 篠田知暁（東京外国語大学）「ワッターズ朝期マグリブ・アクサーにおける境域の統治者とポルトガル国王の外交交渉」
- 15:00～15:40 押尾高志（千葉大学 J）「16世紀スペインのモリスコによるイスラーム知識の『スペイン語化』：アルハミーア写本を例に」

（縄田浩志 大会実行委員長）

『日本中東学会年報 (AJAMES)』編集委員会報告

本誌に関するお問い合わせ先は編集委員長の交代に伴い、4月から変更になりました。メールアドレスは変更ありません。

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1
明治大学情報コミュニケーション学部 横田貴之 気付
『日本中東学会年報』編集委員会

E-mail: ajames-editor@james1985.org

(横田貴之 AJAMES 編集委員長)

寄贈図書

【単行本】

小笠原弘幸 (編) 『トルコ共和国 国民の創成とその変容: アタテュルクとエルドアンのはざままで』九州大学出版会、2019年

酒井啓子 (編) 『現代中東の宗派問題: 政治対立の「宗派化」と「新冷戦」』晃洋書房、2019年

竹村和朗 『現代エジプトの沙漠開発: 土地の所有と利用をめぐる民族誌』風響社、2019年

【逐次刊行物・ジャーナル・その他】

『明日の東洋学』40号、2019年3月

『日本クウェイト協会報 (Japan-Kuwait Society Bulletin)』240号、日本クウェイト協会、2019年2月

会員の異動

【新入会員】

稲垣文昭

【2018年度末をもって退会した会員】

阿久津正幸

石丸純一

稲山円

井上裕

屋形禎亮

小寺愛惟

坂元晴香

佐藤秀信

瀬戸邦弘

丸山英樹

森岩紀賢

山田真樹夫

ユーセフ・フセイン・ザナティ

吉川洋

吉田敦

Victor Manuel Barraso

事務局より

無事に次期事務局長も決まり、現在新旧の事務局は互いに業務の引き継ぎに追われております。ただ、昨年の経験をふまえ早めの準備を進めた結果、旧事務局が担当する総会資料の作成にはなんとか目処が立ちました。後任に適任者を得たこともあり、やや勇み足とは思いつつ独りアラクで祝杯(?)をあげるなどしてしまいましたが、もちろん総会が終わるまでは安心できません。皆様どうかお手柔らかにお願いいたします。

(勝沼聡 第17期事務局長)

今年度より事務局長となりました、安田慎と申します。事務局業務については、他に会員の須永恵美子さんと、会員ではありませんが飯塚真弓さん(南アジア研究)とともに当たります。高崎経済大学自体は、日本中東学会とこれまで関わりの少なかった小規模地方公立大ではありますが、教職員や学生も様々な形で学会事務局業務を支えていただくことになるかと存じます。事務局体制が整うまでには暫く時間がかかるうえ、この手の業務を担当するのが初めてなため、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかもしれません。学会員の皆様には、御指導・御鞭撻の程、よろしく願い申し上げます。

(安田慎 第18期事務局長)

編集後記

第17期が担当する最後の号です。頼りがいのある第18期の理事の顔ぶれが出そろうい、職掌分担も決まり、後顧の憂いなく仕事を引き継ぎます。私自身は第15期から第17期まで理事を務め、今期は被選挙権がなかったおかげで、気楽な気持ちで新年度を迎えてしまいました。日本中東学会は人をたくさん雇えるほど大きくはなく、かといって片手間に運営できるほど小さくもなく、理事や委員は自分の研究教育時間の一部を無償で割いて、この分野全体のためにその職務を果たさなくてはなりません。第18期の学会活動に、皆様のますますのご助力をお願いするとともに、新年度が会員諸氏の皆様にとって実り多い年度となることを祈念いたします。

(赤堀雅幸 第17期ニューズレター担当理事)

初めて理事に選ばれ、ニューズレター担当になりました。まったくの初心者ですが、期日に遅れることなく、かつ、読みやすいものを作るよう心がけたいと思います。

(秋葉淳 第18期ニューズレター担当理事)

日本中東学会ニューズレター 第 155 号
発行日 2019 年 4 月 25 日
発行所 日本中東学会事務局

日本中東学会事務局
〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 1300
高崎経済大学 安田慎研究室
E-mail: james@james1985.org
<http://www.james1985.org/>
郵便振替口座：00140-0-161096(日本中東学会)
銀行口座：三井住友銀行渋谷支店(普)5346808
(日本中東学会)
ゆうちょ銀行口座：〇一九店(当)0161096
(ニホンチュウトウガクカイ)